



白河

白河

白河





私に楽道の
気はない

引。

興味がある

俺にもない

でも
そうだな

言うなれば

ギン

ちう

ちう

カッ

ヤ
やめい

やめい

ちう

ア
ア













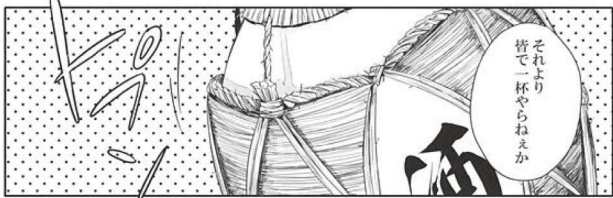




衆道なんざ
珍しくもねえ



何
気にするな



それより
皆で一杯やらねえか





馬の奴め

この鶯丸が握った飯を
べっ、としてくる

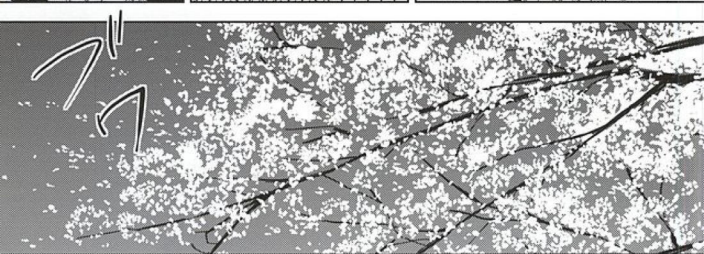
イリ
大和守
イリ

馬は飯を
食わんだろ

狐にくれてやれ

まあでも…
その狐は食う







幾千の時を経て

桜の美しさは
変わらぬものだ

あすてろいど

